

平成27年4月12日執行
長崎県議会議員一般選挙

選挙公報

島原市選挙区
長崎県選挙管理委員会

経験が力 若さが力！

おおば博文は20年間の議員経験が力です。島原と県・国とを結ぶパイプ役として尽力いたします。皆さまの熱く、力強いご支援をどうぞ「おおば博文」に賜りますよう宜しくお願いいたします。

おおば博文 略歴

昭和59年 長崎県立島原高等学校卒業
平成元年 明治大学政治経済学部卒業
平成7年 島原市議会議員(29歳)初当選
平成21年 島原市議会第27代議長就任
平成23年 島原市議会議員5期目当選
平成23年 自民党長崎県連青年局長就任
【現職】 島原市水泳連盟 顧問
明治大学校友会 島原半島支部長

島原に活力と安心を

「島原は住みやすかばってん、仕事がなかけんね」という話をよくお聞きします。生活も医療などもどげんになるとやろうかという将来の不安を訴えられる方も多くなりました。そのようなお声に対し、私はつぎのように考えます。

島原をより元気に！

- ・島原発展のために高規格道路、道路網の整備
- ・女性の意見や知恵が生かされ、それが政治に反映する社会の実現
- ・雇用増加のための地元産業の振興
- ・介護、医療等高齢者が抱える不安の解消



おおば博文
(49)

自由民主党公認

ひろふみ

明日の島原のために！

島原市は「人口の減少」、「所得の低迷」、「財政の弱さ」という問題を抱えています。これらの問題を島原の特徴を生かしてみんなで解決していく、それが「地方創生」です。

私は民間経営者、市議会議員、県議会議員としての知識と経験、人脈を生かし、皆様の声をお聞きし、皆様と一緒に考え、一緒に行動して「島原の創生」に取り組みます。

- 1・産業の振興と経済の活性化
- 2・安心して暮らせる福祉・医療・教育の充実
- 3・行財政改革の推進
- 4・島原半島の一体化の推進
- 5・市と県、国の連携の強化

「明日の島原のために」皆様の貴重な一票を「山本由夫」へどうぞよろしくお願い申し上げます。

【山本由夫の略歴】 一橋大学法学部卒業、銀行勤務を経て噴火災害を機に帰郷
(現) 長崎県議会議員・不動産会社社長・社会福祉法人理事 他
島原商工会議所常議員・島原市テニス協会理事
(元) 島原市議会議員・島原第二中学校育友会長・島原第三小学校育友会長



山本由夫
よしお

自民党 五十四歳



無所属 六七歳
くすのき大典

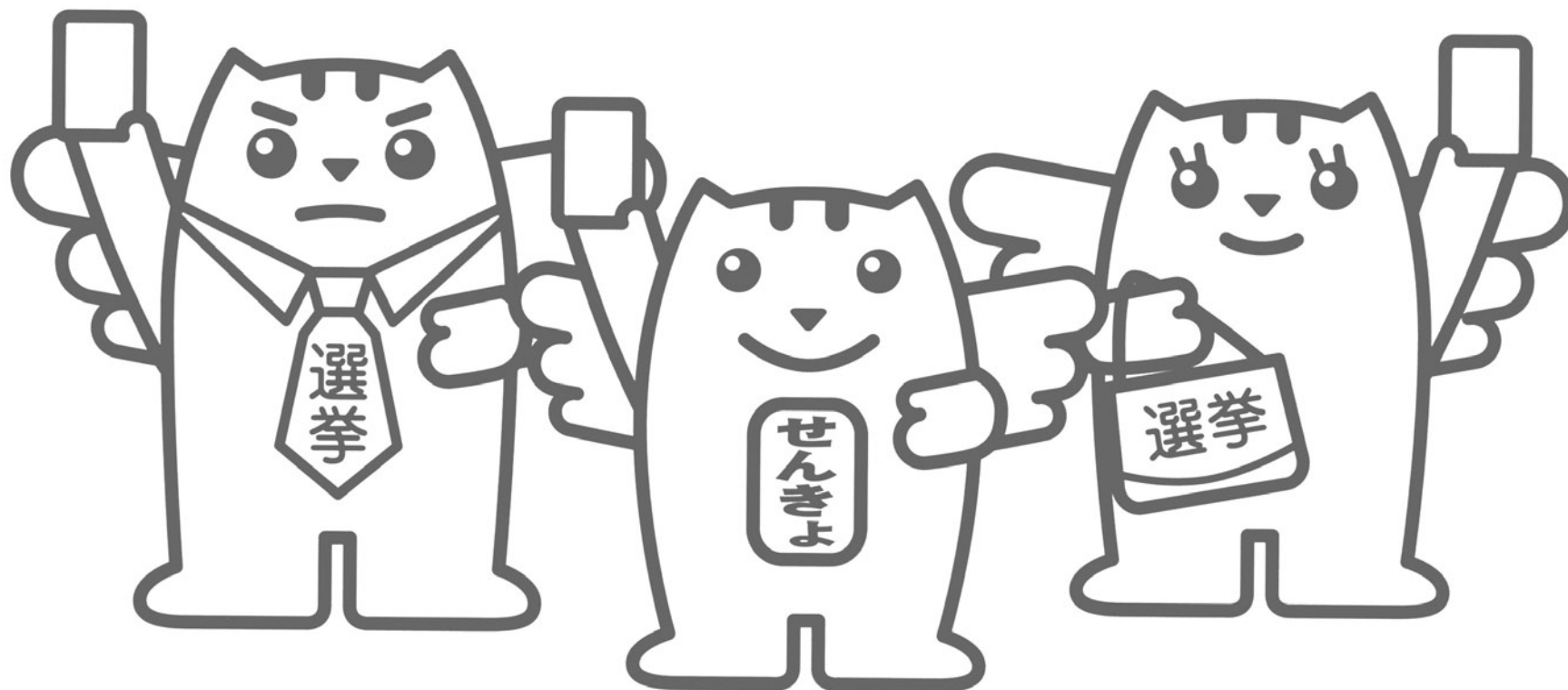
- 長崎県内における経済の浮揚は、内需から得られる消費と外需から獲得する外貨の県内循環を促進する事につきます。少子高齢化の主たる要因である非正規社員の拡大に伴う県民の所得は日本では最下位に近い状況の中、雇用のあり方、労働再分配のあり方を今一度見直し、格差是正、地方格差の解消をめざさなければなりません。
- 国内の大企業における円安、原油安の恩恵は過去にないほど収支を改善させ、株価上昇によって、内部資産は増え続けています。その好調な経済がなぜ、平等にいきわたらないのでしょうか。
- 経済はそこに住む住民の幸せを願いお互いが安心して生活できる仕組みを考えるためのものです。人々経済の自然な流れをつくるのは行政の役目です。
- 国が経済最優先という時、人が中心であるのが前提条件です。人を無視して経済を語れば、世界は対立します。ややもすれば、力による経済制裁やひいては武力まで行使するなど、歴史の愚かな繰り返しを心配するのは当り前の事です。
- 私たち日本人には兎事に虜城からもちあがる、知恵があります。人の知恵が幸せをもたらす長崎県民の総意は御用聞きが必要で、その御用聞きに拘り大衆を使ってください。強い者が弱い者をいたわり、お互いが幸せを感じられる安心、安全社会の実現にむけ私は頑張ります。
- その為、県議会において、具現化する方法を提案します。
- ① 内需も外需も県内で消費循環する仕組みの構築
 - ② 県内総生産の七十八%をしめるサービス業、その拡大に通訳を育成し外部講師の雇用
 - ③ 県内生産品の販路拡大を県内全域でできるシステムの構築
 - ④ 新たなビジネスモデルを模索し、起業できる環境の整備で所得と雇用の場の提供
 - ⑤ 豊かな食料と食文化の海外展開も視野に入れた積極的販売

長崎県議会議員一般選挙

4月12日(日)

投票日

これから始まる未来がある!!



投票時間は**午前7時から午後8時まで**です。

投票日に仕事やレジャーなどの予定がある方は、期日前投票または不在者投票をしましょう。